

中小企業への支援 対策について



問

昨年1年間の中
小企業の倒産件数は、

5年ぶりに1万5千件を突破した。年度末を控え、中小企業・中小業者を守ることは緊急課題である。

企業者等金融円滑化臨時措置法が成立したが、中小企業への融資が改善される方向は示されているが、実効性のあるものになるかは不確定なものと言わざるを得ない。そこで、以下の点について伺う。

①幕別町内における中小企業の経営状況は。
②「幕別町中小企業融資に関する条例」の融資条件の変更の考えは。
③「小規模修繕契約希望登録制度」の限度額を増額する考えは。
④「リフォーム助成制度」をただちに実施してはどうか。

町長 ①私どもが日常業務を遂行する上で把握する数字を見る限りでは、

町内の中小企業の経営状況は依然として厳しいものが

あると感じている。

中小企業者等に対する金融円滑化を図るために臨時措置に関する法律に基づく新たな制度をはじめ、各種融資制度や緊急保証制度などを十分にご活用いただきたいと考えている。

②これまでも融資額の拡大や小口融資枠の設定、利子補給率の変更などを実施している。

年末に向けての資金繰りによる貸付条件の変更等に加え、対象業種の拡大と認定条件の緩和など柔軟な対応を行う旨の通達を出すとの答弁がされたことや、セーフティネット貸付の活用を合せると、町内中小企業の資金需要に十分応え得る資金体制が整っていると想定しているので、現時点での点について伺う。

①幕別町のワнстップ・サービスの利用状況は。

③対象となる契約の限度額は、幕別町財務規則の1件の契約金額が30万円未満のとき、見積書の微取を省略できるという規定を根拠に制度化していく、金額は30万円未満とした。

しかしながら、町内事業者育成の観点から、重要な課題であると認識しているので、今後、財務規則の見直しを含め、他市町村の状況などについて情報収集していきたいと考えている。

幕別町内の雇用情勢について

問

帶広職安は10月の月間有効求人倍率を0・59倍と、また10月末時点で来春卒業予定の高校生就職内定率33・9%と発表した。就職希望者の9割が十勝管内で就職を希望するという地元志望が強い中で、管内企業の求人は前年割れしており、就職希望者には厳しい状況が続いている。そこで、以下の点について伺う。

②幕別町内の2高校の就職内定状況は。
③幕別町内の雇用情勢をどのように把握しているか。
④今後の幕別町独自の雇用推進対策について。

町長 ①相談件数は1月が20件、2月が1件で、3月以降は相談が無い状態である。
②1月末現在で、幕別高校が就職希望者44名に対し内定者が21名、率にして47・7%、江陵高校が就職

希望者52名に対して内定者が32名で率にして61・5%で、管内や道内の就職内定率を大幅に上回っている。
③本年2月に実施した事業所雇用実態調査の集計では、回答のあった197社の就労者2848人の内、正規労働者が1688人、率で59・3%、臨時雇用など非正規労働者が1160人、率で40・7%であるが、年末を迎える規模の大きな事業所を対象とした聴き取り調査や商工会の話では、雇用形態にかかわらず大幅な解雇などの情報は確認されていない状況である。
④これまでも緊急雇用での砂詰め作業や新卒者を対象とした臨時職員の雇用、さらには交付金を活用した緊急雇用創出事業などを実施してきている。

いずれにしても、町が事業主体となる雇用対策には自ずと限界があるのも事実であり、国の支援と企業の理解協力があつて始めて雇用に結びつくものである。その中で、町としてできることの努力をしていきた